

おはなし トレイン



3・4歳



『かまきりの ちよん』

とくだ ゆきひさ
得田 之久/さく・え
ふくいんかんしょてん
福音館書店

あさ朝、つゆくさのかけからひよっこりあらわれたのは、かまきりのちよん。虫を追いかけて逃げられたり、地面にまっさかさまに落ちたり。ちよんはおなかがぺこぺこです。虫のからだの形や色の特徴が、わかりやすく描かれています。地面に近い子どもの視線で、虫を観察している気持ちになれる絵本です。

0～2歳

2022年7月



『うさこちゃんのてんと』 かいほん 改版

ディック・ブルーナ/ぶん・え
まつおか きょうこ/やく
ふくいんかんしょてん
福音館書店

テントでの食事、プールでの水遊び、うさこちゃんワクワクの夏の1日です。輪郭がはっきりした絵、温かみのある訳は、読み聞かせにおすすめです。この愛らしいうさぎは、オランダ語ではニンチェ、英語ではミッフィー、日本の絵本では石井桃子・松岡享子両氏の翻訳で、うさこちゃんとして親しまれています。

4・5歳

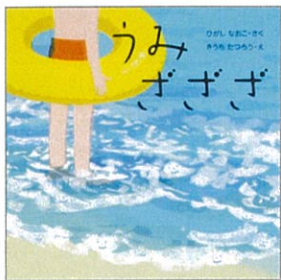


『がちょうの ペチューニア』

ロジャー・デュボワザン/作
まつおか きょうこ/訳
ふざんぼう
富山房

ある日、がちょうのペチューニアは本を拾いました。本を持っているだけで頭がよくなると思い込んだペチューニアは、つばさの下に本を持ち歩いては鼻高々です。急に賢そうに見えるようになったペチューニアに、動物たちがいろいろと相談をもちかけますが…。とてもゆかいな古典的の名作絵本です。

0～2歳



『うみざざざ』

ひがし なおこ/さく
きうち たつろう/え
くもん出版

夏のある日、男の子が海にやってきました。空のまぶしさ、砂浜の熱さ、水のきらめき、男の子の感じた海がていねいに切り取られています。白い泡が遊ぼうと男の子を誘います。浮き輪を抱えていざ海へ。ぷっかりこ、ゆうらりこ、海に身をゆだねる豊かな時間を、絵本で体験してください。

0～2歳

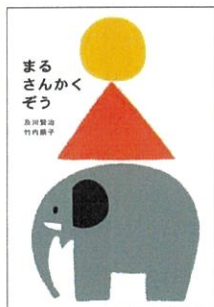


『ジロツ』

おおなり 修司/文
たけがみ たえ/絵
絵本館

かえるがさなぎをジロツとにらみます。そしてパクツと食べました。おなかがいっぱいになっておひるねしていると、今度はへびがやってきて…。オノマトペだけでお話が進み、次々に起こる展開にハラハラドキドキ。音の響きが楽しい絵本は乳幼児におすすめです。また、迫力ある絵もじっくり見て楽しんでください。

0～2歳



『まるさんかくぞう』

おいかわ けんじ さく
及川 賢治/作
たけうち まゆこ さく
竹内 繭子/作
ぶんけいどう
文溪堂

いくつかのイラストに言葉を並べただけで、なぜかおもしろく、繰り返し読みたくなる絵本。シンプルさゆえに、子どもにもわかりやすいこと、まちがちなし！絵だけで楽しむ月齢から、言葉を覚える頃まで長く楽しめます。「さんかく まる しかく」「さんかく ぞう まる」と、声に出して遊んでみましょう。

0～2歳



『おひさまさんさん おはようさん』

なかじま かおり/さく
いわさきしよてん
岩崎書店

くも あめ「こんにちは」をしり、かぜ くも雲から雨が「こんにちは」をしたり、風が雲をつ連れて行くと太陽が出たり、天気の様子が変わりを小さい子にもわかりやすく描いた絵本です。「おひさまさんさん おはようさん」と、繰り返しられる言葉のリズムが心地よく、声に出して読みたくなります。白地の背景にはっきりとした色使いが、赤ちゃんにも見やすい1冊。

3・4歳



『いかだは ぴしゃぴしゃ』

岸田 衿子/さく
堀内 誠一/え
福音館書店

くまくんが森の木で、いかだを作りました。そこへ次々乗ってくる動物や虫たち。いかだはぴしゃぴしゃすすみ、川を下って海を目指します。光があふれる絵と、言葉の心地よさが、ページをめくるワクワク感をさらに際立たせています。さあ、みなでお弁当を持って、冒険に出かけましょう。

3・4歳



『ゴリラさんは』

北村 裕花/作
講談社

ゴリラさんが、大好きなバナナを両手に抱えて歩いています。そこへ「ぬん」とニホンザルが現れて、バナナをじっとみつめます。「ぬぬん」とマンドリル、「ぬぬぬん」とテングザル。次から次へとおサルがやってきて両手のバナナをみつめます。バナナとおサルとやさしいゴリラさんのおはなしです。

3・4歳



『おじさんのぼうしは どこいった?』

ジョアン・L・ノドセット/ぶん
フリッツ・シーベル/え
やすだ ふゆこ/やく
出版ワークス

ある日、おじさんのお気に入りの麦わら帽子が風に飛ばされてしまいます。おじさんは森の動物たちのところへ探しにいきますが、なかなか見つかりません。麦わら帽子はどこまで飛んで行くのでしょうか？ 穏やかな絵とお話は、夜寝る前に読むのにぴったり。アメリカで親・子・孫三代に渡って読み継がれています。

3・4歳



『もじもじ こぶくん』

小野寺 悦子/ぶん
きくち ちき/え
福音館書店

はずかしがりやのこぶくんが、アイスクリームを買いにゆきます。お店の前でもじもじ。他のお客さんはどんどんアイスクリームを買っていくのに、いつまでたっても買えません。そんなこぶくに小さな声が聞こえてきて…。友だちと一緒に勇気を出して行動することのすばらしさが、味わえる絵本です。

4・5歳

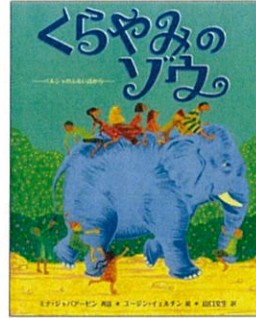


『ハナはへびがすき』

かにえ あんず さく
蟹江 杏 / 作
ふくいんかんしょてん
福音館書店

ハナが好きな生き物は、周りの人に怖がられてしまうものばかり。でもハナは、すてきなところをたくさん知っています。へびの模様はきれいで、カエルのお腹は真珠のよう。雨上がりのクモの巣はネックレス、コウモリの顔はいつも笑っているみたい。生き物が好きな子は、ハナに共感できるかもしれませんね。

4・5歳



『くらやみのゾウ』

ペルシャのふるい詩から

ミナ・ジャバアービン / 再話
ユージン・イエルチン / 絵
やまぐち ふみ お やく
山口 文生 / 訳
ひょうろんしゃ
評論社

商人アフマドが、「大きくてふしぎな生きもの」をインドから連れ帰りました。暗い蔵に入れられたその生きものを、村人達は見たくてたまりません。こっそり蔵にもぐりこみ、生きものを見た人達は、なぜか別々のことを言い出しました。一体どういうわけなのでしょう？ ペルシャの古い詩をもとにかかれた物語です。

4・5歳



『くもとそらのえほん』

いがらし みわ こ さく・え
五十嵐 美和子 / 作・絵
たけだ やすお かんしゅう
武田 康男 / 監修
けんきゅうしょ
PHP研究所

気象予報士で空の探検家でもある武田康男氏監修の絵本です。見開きに広がる風景はとても美しく、ていねいに描かれています。そして、雲の種類のおおなまえのおもしろさ、季節の移り変わりを感じるができるでしょう。雲の種類をおぼえたら、「今日の雲は、どんな雲？」と空を見上げてみませんか。

4・5歳



『ロボット・カミイ』

ふる た たる ひ
古田 足日 / さく
ほりうち せいいち
堀内 誠一 / え
ふくいんかんしょてん
福音館書店

たけしとようこが、大きなダンボール箱でロボットを作りました。名前はカミイ。カミイはとってもわがままでいばりんぼうで、だれと遊んでもすぐにケンカになります。けれど、優しくて勇敢な「せかいいちつよいロボット」でもあるのです。少し長めのお話に挑戦したい時に、読んであげてほしい1冊です。